

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	だきしめ愛の家		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方から安心して預けてもらっている。	小さなことでも職員全体で共有しており、臨機応変な支援をしている。	送迎の際に学校の先生や保護者の方とコミュニケーションを取る中で、しっかり情報共有をし、より良い支援のヒントを得られるように全職員がアンテナを張る。保護者の方にその日の様子などを写真等を見せるなどして具体的に伝えて、安心していただく。
2	子ども一人一人に合わせた支援を行っている。	研修などで得た知識のほかに、職員がそれぞれ情報収集し、常により良い支援方法を学び活かしている。	個人で得た情報の共有をミーティング等でも積極的に発信する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数の不足	・様々な事情や体調等で、新しく入職した職員が退職してしまった。 ・利用者増加で人手不足になってしまう。	・来年度利用者増加に向け、新たな職員を採用する。
2			
3			